

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設の研究用）

西暦 2018年 1月 18日作成

研究課題名	生殖補助医療における治療成績・予後に関する観察研究
研究の対象	2006年1月1日から2017年12月31日の間に当院にて生殖補助医療を受けた夫婦
研究目的 ・方法	<p>生殖補助医療（ART）は不妊治療の手段として、現在広く普及しており、日本では2015年現在において年間42万周期の治療が行われ、約4万人/年の児が出生している。一方でARTが世界で初めて行われたのは1978年であり、その歴史は40年に満たず、その最適な治療法、周産期予後、ART児の生命予後については、結論が出ていない点が少なくない。</p> <p>そこで、当院において生殖補助医療を行ったその治療内容、成績、妊娠予後に関して明らかにすることを目的として、当院の生殖補助医療データベース、電子カルテ上の診療録を解析する。</p>
研究期間	西暦 2018年5月1日（承認日） ～ 西暦 2023年 3月 31日
研究に用いる 試料・情報 の種類	<ul style="list-style-type: none"> ・背景：年齢、既往歴、手術歴、合併症の有無、ART前治療の有無と治療内容 ・妻の不妊因子（血液検査（LH、FSH、E2、P、T、AMH、クラミジアIgG、IgA、TSH、FT3、FT4、抗TPO抗体、抗精子抗体、血糖値、HbA1c、風疹抗体、PRL）、卵管造影検査、子宮鏡検査） ・夫の精液所見、身体所見、精索静脈瘤の有無、当院通院の患者に関してはその治療内容 ・ART施行時の治療内容 ・妊娠の転帰、周産期予後 <p>個人を特定できる情報は使用しません。個人情報横浜国立大学附属病院の臨床研究に関する個人情報等の取扱い手順書に従って、厳重に管理されます。</p>
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設の研究用）

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57

横浜市立大学附属市民総合医療センター 生殖医療センター（研究責任者）村瀬 真理子

電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-242-2275